

行政事業レビューシート (国土交通省)

| | | | | | | |
|----------------------------|--|-----------------------------------|------------|------------------------------|------|----------|
| 予算事業名 | 住宅金融市場環境整備事業 | | 事業開始年度 | 平成20年度 | | 作成責任者 |
| 担当部局庁 | 住宅局 | | 担当課室 | 総務課民間事業支援調整室 | | 室長 瀬口 芳広 |
| 会計区分 | 一般会計 | | 上位政策 | 住宅の取得・賃貸・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | — | | 関係する計画、通知等 | 住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱 | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 長期固定金利の住宅ローンの安定的供給を図る上で重要な役割を担うモーゲージバンカー等の参入促進のために市場における競争条件を整備すること。 消費者が自らのニーズに適した住宅ローンを選択できるための情報提供が可能な環境の整備を推進すること。 | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | <p>(1)モーゲージバンカー等の競争条件整備 借入申込書のデータ電送を可能にするソフトを作成し、審査期間の短縮及び顧客情報に係るセキュリティ向上を図り、モーゲージバンカー等の後発事業者にとっての環境を整備することによって住宅金融市場における競争条件の整備を行う。</p> <p>(2)住宅ローンアドバイザーに対する継続的な教育プログラムの開発・実施 継続教育プログラムの一つとしてeラーニングを導入する。eラーニングは、リアルタイム且つ時間・場所に拘束されずに継続教育プログラム受講が可能であり、受講機会の間口を広げることによって、講習等を受講できない資格保有者の継続(資格更新)が促進され、これによりローンアドバイザーの資質確保を図る。</p> | | | | | |
| 実施状況 | 平成21年度においては、事業の必要性等を精査した結果、事業を実施しないこととした。 なお、平成22年度の予算要求も行っていない。 | | | | | |
| 予算の状況 (単位:百万円) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度要求 |
| | 予算額(補正後) | — | 70 | 60 | — | — |
| | 執行額 | — | 70 | 0 | | |
| | 執行率 | — | 100.0% | 0.0% | | |
| | 総事業費(執行ベース) | — | — | — | | |
| 自己点検 | 支出先・用途の把握水準・状況 | 平成21年度においては事業を実施しないこととしたため、支出はない。 | | | | |
| | 見直しの余地 | 事業の必要性を精査した結果、平成21年度で業務を終了した。 | | | | |
| 予算監視の効率化 | 【事業廃止】 事業効果が認められない。 | | | | | |
| 補記 | <p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・005 住宅市場整備推進費 ・95 住宅市場の環境整備の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2405-16 住宅市場整備推進等事業費補助金 60百万円 0百万円 | | | | | |

行政事業レ
ビューシート
(国土交通省)

